

無償物件を紹介

低家賃も新潟であすまで

東日本大震災で本県に避難した人たちに住んでもらおうと、県内のアパート所有者らから無償や低家賃の物件提供が県などに相次いでいる。物件を紹介する相談会が5日、避難所になっている新潟市体育館（中央区）などで始まった。

この日までに提供されたの

は無償物件94件、敷金・礼金がないなど優遇措置のある有償物件140件。物件の紹介は宅地建物取引業者らでつくるNPO法人「県不動産コンサルティング協会」（同区）が担当する。

市体育館での相談会では、避難者が「いつ入居できるのか」「子ども連れでもよいか」

と条件などを確認していた。

新潟市内にある半年間家賃なしのアパートを紹介された福島県郡山市の松浦愛美さん（29）は「子どもが小さいので部屋探しに苦労すると思ってきた。とてもありがたい」と話した。相談会は6、7日も新潟市体育館と県宅建会館（新潟市中央区）で開催。同会館での相談は予約が必要。電話での相談は受け付けない。問い合わせは県不動産コンサルティング協会、090